

■山形のみちづくり評議会・市町村・山形県議会からの意見と対応(案)

資料4

委員・市町村意見	対応箇所	記載内容	該当ページ
<b>(1) 広域道路ネットワークについて</b>			
インバウンド観光の振興のためにも地域高規格道路の整備促進に期待。	第1章 1.2(4)観光産業の推移 ③酒田港への大型クルーズ船の就航	高速道路交通網の整備の推進による周遊エリアの拡大について記載	p.1-10
	第3章 施策① 取組み方針①	「観光振興」の前に「インバウンドを含む」と記載	p.3-6
地域高規格道路以外の横軸道路の整備が重要。	第3章 施策① 取組み内容 iii その他の重要物流道路等	直轄国道等の整備促進、機能強化を記載	p.3-8
重要物流道路の道路中期計画へ反映	第3章 施策①, ②, ④ 取組み内容	下記の施策の取組み内容に対象となる路線の整備促進、機能強化等を記載 施策① 重要物流道路(基幹道路) 施策② 重要物流道路(アクセス路) 施策④ 補完路、代替路	p.3-6,8 p.3-10~11 p.3-16~18
<b>(2) 通学路等の安心・安全について</b>			
大阪北部地震でのブロック塀の倒壊を受け、通学路点検において周辺環境の点検も必要。	第3章 施策⑤ 取組み方針、取組み内容 iii	周辺の民有施設を含めた点検、所有者に対する改善指導を記載	p.3-21,23
高齢者の自動車運転免許返納後の移動手段の確保について、道路行政の立場から触れるべき。	第1章 1.2(6)道路交通の状況 ③交通事故の発生状況	高齢ドライバーの事故、改正道路交通法の施行に伴う自動車運転免許証の自主返納等を記載	p.1-15
	第1章 1.2(6)道路交通の状況 ④高齢者の移動手段の確保に向けた取り組み	地域公共交通確保のための地域公共交通網形成計画の策定、運転免許証返納者に対するバスやタクシーの利用補助対策等の市町村の取組みについて記載	p.1-17
	第3章 施策⑤	高齢者や障がい者にも優しい歩行空間の創出を記載	p.3-21,23
	第3章 <参考>資料 ② 3)自動運転システムの実用化	自動運転システムの普及による高齢者の移動手段確保などの社会問題に対する新たな解決手段としての期待について記載	p.3-45~48
<b>(3) 防災対策について</b>			
近年の気象変動を踏まえた、豪雨・豪雪に対する防災・減災対策を明記すること。	第1章 1.2 (2)地球温暖化等地球規模の気象変動・環境変化	近年の気象状況の変化の状況を記載	p.1-3
	第2章 2.2 (4)安全と安心を確保するみちづくり	これまでの10年間の防災対策について記載	p.2-19~22
	第3章 施策④ 取組み方針、取組み内容	防災・減災に向けた一般道路等の機能強化と災害発生時における対応の迅速化について記載	p.3-16~20
豪雨災害に強い道路とネットワークの整備促進を追加 (市町村意見)	第3章 施策④ 取組み方針、取組み内容 ii	豪雨災害に強い道路ネットワークの整備促進について記載	p.3-16,19
雨量データを活用した情報提供のあり方について明記すること。	第2章 2.2(4) ⑧一般道路の機能向上の推進	災害発生時等の道路規制情報を県ホームページで公表開始したことを記載	p.2-21
	第3章 施策④ 取組み方針、取組み内容 iv	災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供について記載	p.3-16,20
<b>(4) 「道の駅」について</b>			
「道の駅」のもつ防災機能について地域住民への周知が必要。	第3章 施策③ 取組み内容 iii	「道の駅」の防災機能の住民等への周知について記載	p.3-15
「道の駅」の整備では、画一的にならないよう、誰かがコーディネーターとなって地域の意見をとりまとめ、柔軟に検討するべき。	第3章 施策③ 取組み内容 i	新たな「道の駅」の整備に関する「技術的助言」として記載	p.3-13
<b>(5) 道路の維持管理について</b>			
幹線道路の完成などで交通状況が大きく変化する場合には、橋梁等の長寿命化対策等の整備の優先順位等を見直ししてほしい。	第3章 施策⑥ 取組み方針	「山形県橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、5年毎の点検により状況を把握と記載。 (交通状況の変化により劣化が進行した場合は、対策の優先度を上げて対応。)	p.3-25
農道や狭隘な市町村道において、想定外の大型車等の通行により路面等の損傷が発生。市町村や地域と連携し、車種ごとの通行規制、路面標示による注意喚起等が必要。	第3章 施策⑨ 取組み方針	非幹線道路への大型観光バス等の進入の抑制等のため、道路標識等整備を促進と記載	p.3-39

委員・市町村意見	対応箇所	記載内容	該当ページ
<b>(6) 各施策の指標について</b>			
県民が事業効果を実感できる指標にすること。	第3章 各施策 代表指標	各指標の内容を精査	第3章各ページ
<b>(7) 観光について</b>			
標識等の多言語化では、ピクトグラムの活用や英語表記のみにするなど視認性に配慮すること。	第3章 施策⑨ 取組み方針、取組み内容 ii	取組み事例として、ピクトグラム、英語表記等の取組みを例示	p.3-39
<b>(8) 道路ストックの活用について</b>			
堆雪幅を確保した広い路肩は車線が分かりにくいいため、カラー化を進めてほしい。	第3章 施策⑨ 取組み方針、取組み内容 i	路肩のカラーリング、矢羽根マーク等の設置について例示	p.3-38
<b>(9) 新たな制度・取組み等について</b>			
自動運転サービス導入の取組みに期待。	第3章 <参考>資料 ② 3)自動運転システムの実用化	自動運転システムの普及による高齢者の移動手段確保などの社会問題に対する新たな解決手段としての期待について記載	p.3-44~48
高速道路暫定2車線区間の対向車線への逸脱防止を進めてほしい。	第3章 施策① 取組み方針、取組み内容 iv	その他の交通安全対策として、暫定の対面2車線道路における車線逸脱防止のための防護柵の整備推進について記載	p.3-6,9
<b>(10) 地域住民の意見の反映について</b>			
地域住民・市町村の意見を吸い上げる機会を設けてほしい。 (県議会、市町村意見)	巻末資料 アンケート結果	H28年度 市町村アンケート H29年度 県政アンケート、道路利用者アンケート① H30年度 道路利用者アンケート②、市町村説明会(9月)、パブリックコメント(12月下旬~1月末実施予定)	巻末資料
<b>(11) 個別事業箇所の掲載について</b>			
総合支庁毎の取組み方針を示す「地域のみちづくりビジョン」についても次期道路中期計画に合わせて策定すべき。(市町村意見)	第4章	第4章に地域のみちづくりビジョンを掲載 (詳細は、中期計画原案に対するパブリックコメント実施時に提示予定。)	第4章各ページ
管内、市町村内の個別事業箇所について掲載を希望 (市町村意見)	第3章、第4章	バランスに配慮し、本文(第3章、第4章)に記載予定	-
地域バランス、市町村バランスに配慮してほしい。(市町村意見)			